

「第6回松尾地域賑わい空間創出研究会」を開催しました！

1月に実施した視察研修（第5回研究会）を経て、第6回研究会では、今までに出されたアイデアをイメージ図として整理した施設計画案をもとに議論を行いました。

計24名の参加者によって、今回も活発な議論が行われました。開催概要については、次のとおりです。



《 まつ研の進め方 》

第1回 【H23年9月11日】
松尾地域の“賑わい”を考える。

第2回 【H23年10月1日】
賑わいづくりのアイデアを絞り込む。

第3回 【H23年10月23日】
跡地につめこむ施設機能を具体化する。

第4回 【H23年12月11日】
専門家の講義を聞き、跡地で実現する事柄の確認と課題の整理をする。

第5回 【H24年1月21日】※本通信にて報告
参考施設を訪問し、施設イメージを膨らませる。

第6回 【H24年2月26日】※本通信にて報告
施設計画案をもとに機能や施設を検討する。

第7回 【H24年3月17日】
今年度の検討のまとめをし、今後の方針を考える。

第6回研究会開催概要

日時：平成24年2月26日 13:30～16:00
場所：松尾 | T保健福祉センター

テーマ：「施設計画案をもとに機能や配置を検討する」

第6回研究会では、これまでに出されたアイデアを盛り込んだ施設計画案をもとに、跡地利用の具現化とイメージの共有を図りました。

- 「食」と「健康・文化」の2つのコンセプトをそれぞれ施設計画案として整理したイメージ図をもとに、グループ毎で議論しました。
- 必要な機能の過不足について検討し、また、より利用しやすい施設となるよう、施設配置を考えました。

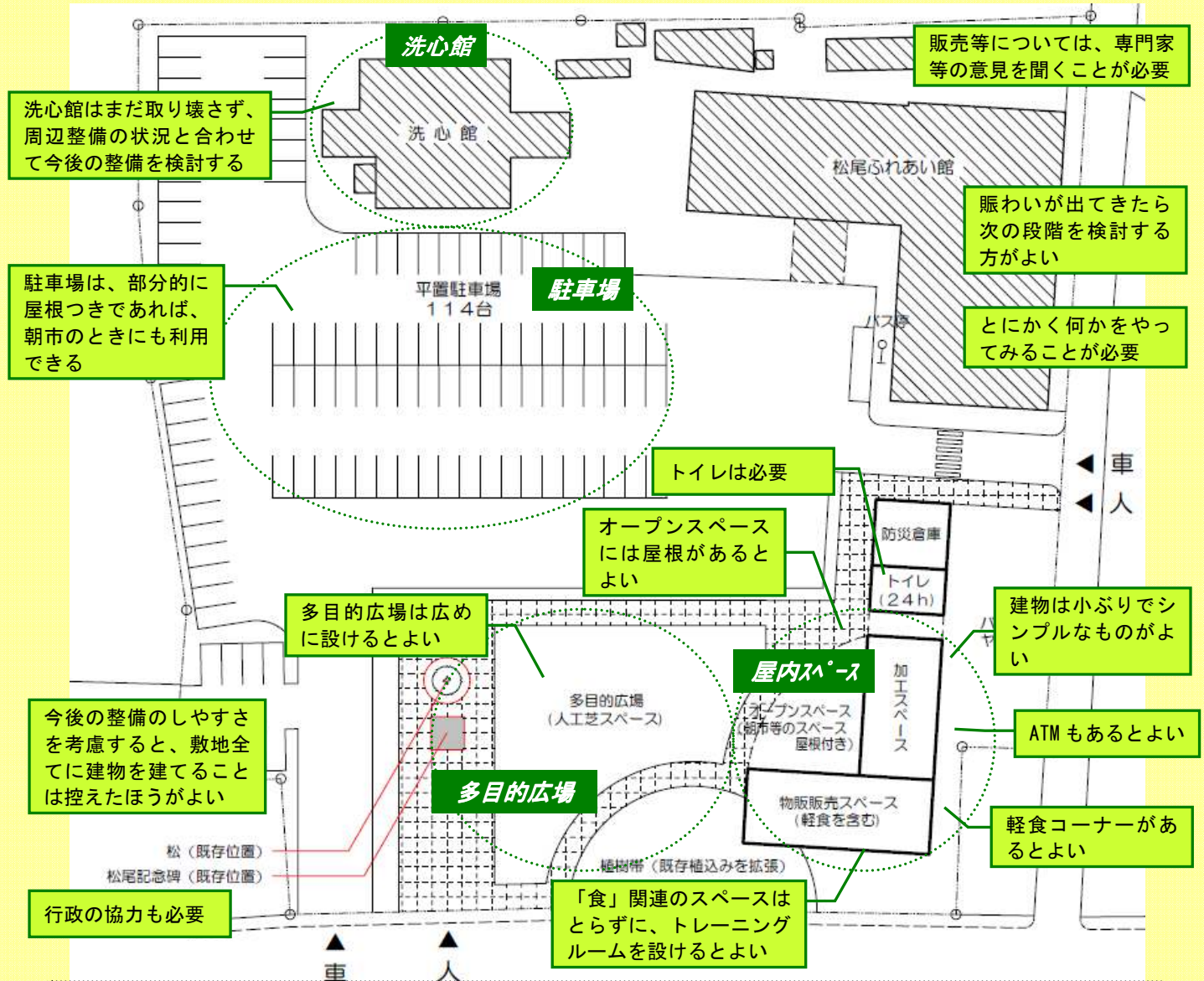
これまでまつ研で議論してきたことを、その成果として、初めて図面として可視化したことで、これまで曖昧だった部分や、参加者各々で想像していたものが、少しだけ明確になりました。さらに、図面を前にしたことで、跡地利用のイメージが参加者の中で共有され、より実現性の高さに焦点をおいた議論となり、有意義な研究会となりました。

第6回研究会の進行プログラム

1. 開会のあいさつ
2. 今までまつ研で検討した結果の整理と今後について
3. テーマについてグループ毎の話し合い
4. グループ毎の発表
5. 閉会のあいさつ



◀施設計画案をもとに、必要な機能や施設配置を考えました▶



～第6回研究会の検討結果～

- 屋内スペースについては、まずはシンプルなものを整備し、賑わいの創出状況や周辺整備をふまえて、次の段階を検討する方向がよい
- 今後の整備のしやすさを考慮し、多目的広場や駐車場のスペースを十分設けるとよい
- 地域の施設での活動については、今後は専門家等の協力が必要

第5回研究会 (視察研修) の報告 (平成24年1月21日実施)

【視察①ポケットファームどきどき (つくば牛久店)】

【視察②道の駅・川の駅 水の郷さわら】



参加者の声

- ・地元の食材を生かしているところがよい。
- ・リーダーの選出が先決だと感じた。
- ・目的やターゲットを明確にすることが重要だと思った。
- ・農業者、民間、行政との連携が必要だと思った。
- ・松尾に合った施設の検討が必要だと思った。